

新市の市民憲章、市の花・市の木・市の鳥・市の魚が決定

9月11日に開催された合併記念式典において、市の新たな市民憲章と市の花・市の木・市の鳥・市の魚が発表されました。新たに制定した市民憲章は、従前の市民憲章を基本に、前文で新「印西市」の情景を表現し、本文をより具体的な内容に改めたものです。

また、市の花には「コスモス」、市の木には「サクラ」、市の鳥には「メジロ」、市の魚には「ナマズ」を新たに指定しました。

決定までの経緯

市民憲章の制定、市の花などの指定に当たっては、4月に知識経験者と公募により選出された市民で構成する市民憲章等検討委員会を設置するとともに、6月に広報いんざい意見公募特別号による市民意見の募集および小・中学生へのアンケートを、7月から

8月にかけて市民意見公募手続を実施し、市民意向の把握に努めてまいりました。

この度、市民憲章等検討委員会から、これらの市民意向を踏まえて作成された検討結果の報告を受け、この検討結果に基づき、新市の市民憲章および市の花・市の木・市の鳥・市の魚を決定したものであります。

印西市民憲章

わたくしたちの印西は、ゆうゆうと流れる利根川、水鳥飛び交う印旛沼、手賀沼に囲まれ、緑豊かな田園と新旧の街並みが織り成す調和のとれた美しいまちです。

わたくしたちは、先人の築いた歴史と伝統を受け継ぎながら、輝かしい未来に向かって

て、一人ひとりが主役となる元気なまちをつくるためにこの憲章を定めます。

平成22年3月23日に、印西市、印旛村、本埜村が合併し、新「印西市」が誕生しました。合併により新たに誕生した印西市は、北に雄大な利根川、東に印旛沼、西に手賀沼を有し、水に恵まれるとともに緑あふれる田園が広がる自然と共生するまちです。

また、歴史にはぐくまれた街並みと千葉ニュータウンの都市機能が調和した新たな魅力を持つまちです。

私たちは、先人の築いた歴史と伝統を受け継ぎ、それらを後世に伝えていかなければなりません。

これから未来に向かって、市民一人ひとりがまちづくりの主役となり、誰もがふるさとと呼べる元気なまちをつくるためにこの憲章を定めるものです。

1 美しいふるさとに誇りを持ち、環境にやさしいまちをつくりまします。

本市は豊かな自然を有しています。私たちは、この自然あふれる美しいふるさとに誇りを持ち、これからは自然を保護、保全していかなければなりません。

また、自然環境に対する負荷の軽減などを図ることは、地球規模で人に課せられた責務であり、市民一人ひとりが環境にやさしいまちを目指すものです。

私たちは、人間尊重の心を忘れずに、社会のために尽くされてきたお年寄りに感謝するとともに、将来を担う子どもたちに夢と希望を与え、元気に育つことを願うものです。お互いが社会の一員として、助け合い協力し合い、連帯感を持ちながら地域が一つになって、安全な生活環境を整え、誰もが安心して暮らせるまちを目指すものです。

1 ともに学び、教養を高め、文化の薫り高いまちをつくりまします。

私たちが毎日充実した生活を営むためには、古くからの伝統や慣習を受け継ぎながら生涯にわたって学び合うことが大切です。心豊かな人生を送るために、さまざまな文化に触れ、教養を高め、文化の薫り高いまちを目指すものです。

1 スポーツに親しみ、健康で明るいまちをつくりまします。

私たちが生活をしていくためには、心身ともに健康であることが大切です。スポーツを楽しんだり、一人ひとりが継続できる健康法を身につけて健康で明るいまちを目指すものです。

1 働くことを喜びとし、進んで地域に参加する、活力のあるまちをつくりまします。

私たちの生活において大切なことは、健康で働きながら豊かでゆとりある地域社会を形成することです。私たち一人ひとりが働くことに喜びを感じ、地域経済の活性化を進めるとともに、進んで地域に

シリーズ・心の道標⑩ 気分が高揚したり、落ち込んだり

（内線 268） 社会福祉課障害福祉班

気分が異常に高揚して冗舌になったり、眠らなくても平気なくらい異常に活発になったかと思うと、喜びや楽しさを感じることができなくなるくらい落ち込み、無気力になることがあります。

以前は、「そううつ病」と呼ばれていましたが、今は「双極性障害」と呼ばれていることが多いようです。うつ症状が主体の場合は、励ましたり責めたりしないで、休養を勧めあげましょう。

そう症状が主体の場合は、大きな買い物をしたり、多額の借金をしたり、他人とトラブルを起こすことが多いので、できるだけ早めに受診させましょう。本人は、異変に気がつかないことが多いので、家族が医療機関や公的専門機関に相談しましょう。

治療は、薬物療法が中心となります。双極性障害の場合、薬物の効果が出やすいのですが、症状が消えたらといって、自己判断で服用を中止してはいけません。再発することもありますので、医師の指示をきちんと守ってください。

市では、社会福祉課障害福祉班にて、保健師・精神保健福祉士が相談に応じます。

新市の花「コスモス」

秋に色鮮やかな花を咲かせるコスモスには「調和」という意味があることから、人と人、地域と地域との調和や新市としての一体感を願う印西市にとってふさわしい花です。



新市の鳥「メジロ」

姿、色、鳴き声ともに愛らしく、昔から市民に親しまれて



新市の魚「ナマズ」

河川や湖沼に生息することから、利根川、印旛沼、手賀沼といった地域を代表する河川と湖沼を有する印西市では大変なじみ深い魚です。

また、愛嬌のある容姿から市民に親しまれており、市のキャラクターとしての活用が期待されます。



新市の木「サクラ」

市内には、「小林牧場の桜並木」や「吉高の大桜」といった桜の名所があり、多くの市民に親しまれている木です。今後、これらの名所を観光

印西ホームタウンデー 柏レイソル戦 15組 30人をご招待



市では、来季J1リーグ復帰を目指し、日々奮闘している柏レイソルを応援しています。

11月7日(日)は「印西ホームタウンデー」として、柏レイソルが印西市民を試合

(対FC岐阜戦)に無料招待します。一緒に応援しませんか。

◎日時…11月7日(日)午後1時キックオフ(午前10時20分開場)。

◎会場…日立柏サッカー場(柏市)。

◎対象…市に在住している人。

◎定員…15組30人。

◎申し込み…10月15日(金)(当日消印有効)までに往復はがきの往信面に①住所②氏名③年齢④電話番号を記入の上、返信用はがきにあて名を記入し、下記へ(応募多数の場合は抽選)。

◎応募先…〒277-0083 柏市日立台1-2-50 ㈱日立柏レイソル企画事業部「印西ホームタウンペアチケット」係。

☎ ㈱日立柏レイソル企画事業部 (04-7167-0717・火～金曜日・午前10時～午後5時)。



▲柏レイソルのイメージキャラクター「レイくん」